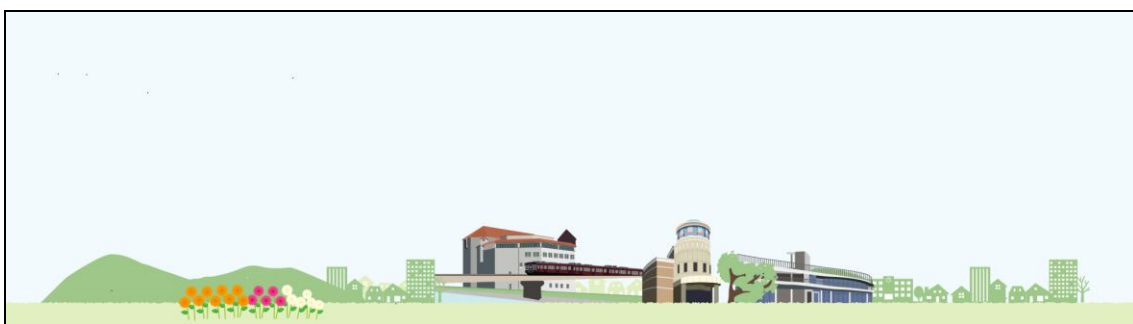


令和4年度
宝塚市介護サービス相談員活動報告書



宝塚市
令和5年（2023年）10月



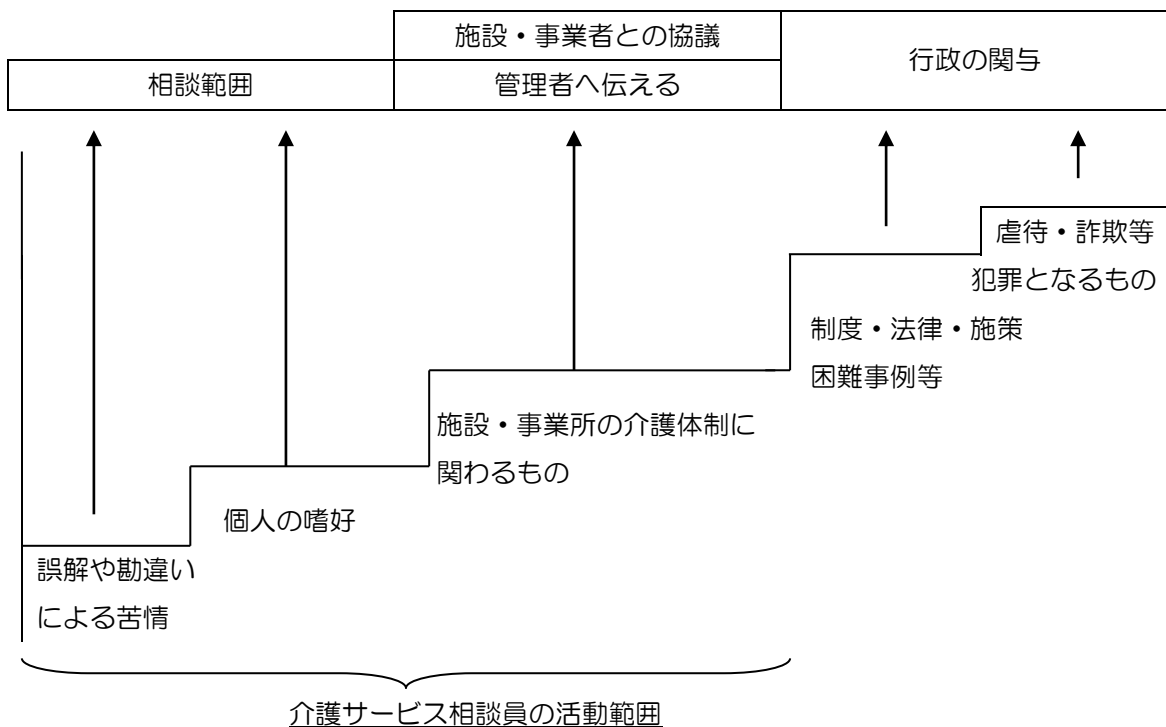
1 介護サービス相談員とは

(1) 宝塚市介護サービス相談員は、平成12年（2000年）4月の介護保険制度の開始に伴い、サービス利用者や家族のための相談の機会を設け、介護サービスへの苦情に至ることを未然に防ぎ、利用者を尊重しながら介護サービスの質の向上を図ることを目的として、同年10月から活動しています。

介護相談員は、サービス利用者や家族から話を聞き、日頃感じている介護サービスに関する疑問点や困りごとなどの様々な相談に応じることで、サービス利用者や家族との「橋渡し役」となり、問題解決に向けた手助けを行い、利用者の不満や不安の解消に努めるものです。

令和3年4月1日より「介護相談員」から「介護サービス相談員」へ名称変更しました。

〈介護サービス相談員の活動範囲〉



(2) 介護サービス相談員派遣等事業の介護保険制度における位置づけ

地域支援事業の任意事業（介護サービスの質の向上に資する事業）として位置づけられています。

介護サービス提供事業者には、市町村が実施する本事業に協力するよう努める義務（努力義務）が規定されています。（指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第39号第34条第2項ほか）

2 活動内容

(1) 介護サービス相談員数

18名（市民公募委員11名・民生児童委員7名）

(2) 事業所訪問

ア 担当事業所を2人1組で一か月に1回又は二か月に1回程度訪問し、サービス利用者やその家族、事業所の介護スタッフ等の話を聞き、相談を受け付けます。また、事業内のサービスの状況把握に努めます。

介護サービス相談員の訪問日時については、事前に介護サービス相談員と事業所が調整し、決定します。

イ サービス利用者と事業所との橋渡し役となって、利用者等の疑問や不満、不安に対し、サービス改善方法等を検討します。

ウ 事業所の管理者や担当者等と当日の活動内容（相談内容や介護相談員が気づいたこと）について、意見交換を行います。

エ 事業所の訪問時には、予め設定した共通テーマについて、聞き取りを行います。

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、施設への訪問活動は、回数制限しながらオンライン訪問を中心に行いました。

〈令和4年度の共通テーマ〉

令和4年4月・5月	環境・衛生面で注意していること
6月	熱中症、暑さ対策について
7月	災害時の対応(防火・防災・避難)について
9月	虐待防止について
10月	リスクマネジメントについて
11月	食事を美味しく召し上がってもらうための工夫
12月	居住環境の工夫
1月	排泄ケアについて
2月	ストレスケアについて
3月	家族・地域との交流について

(3) 介護サービス相談員定例会への参加

相談内容や相談者自身が気づいたことを「訪問活動記録票」(P17)にまとめます。

月1回開催（第4木曜日13:30～16:00）の介護サービス相談員定例会に参加し、「訪問活動記録票」をもとに担当する事業所の様子や相談事例の報告を行います。

その際、活動を通じて気になったことや、対応が困難なケースを題材にして、相談員全員でその対応方法について話し合いを行います。

(4) 訪問事業所へのフィードバック

「訪問活動記録票」(P17)に基づき定例会での報告後、市事務局が、利用者名や事業所名が特定されないようにして、「宝塚市介護サービス相談員訪問活動報告書」(P18)を作成して、訪問事業所宛に配布しています。

3 訪問受入協力事業所 (令和5年3月31日現在)

【特別養護老人ホーム】

事業所名	住所
特別養護老人ホームケアホーム中山ちどり	中山桜台1丁目7番1号
特別養護老人ホーム宝塚ちどり	亀井町10番30号
特別養護老人ホーム星花苑	川面字長尾山15番16号
特別養護老人ホーム宝塚あいわ苑	中筋2丁目10番18号
特別養護老人ホーム宝塚栄光園	ゆずり葉台3丁目1番2号
特別養護老人ホーム宝塚シニアコミュニティ	大原野字南穴虫1番地の253
特別養護老人ホーム宝塚すみれ栄光園	弥生町2番2号
特別養護老人ホーム宝塚清光苑	仁川団地4番15号
特別養護老人ホーム宝塚まどか園	美座2丁目22番2号
特別養護老人ホーム花屋敷栄光園	切畑字長尾山5番地の321
特別養護老人ホーム夢御殿山	御殿山1丁目3番3号

【養護老人ホーム】

事業所名	住所
福寿荘	安倉西3丁目1番5号

【介護老人保健施設】

事業所名	住所
介護老人保健施設エスペランサ	山本丸橋2丁目22番1号
介護老人保健施設西谷憩いの家	大原野字波坂2番地の7
介護老人保健施設ケアヴィラ宝塚	亀井町10番51号
介護老人保健施設ステップハウス宝塚	小浜4丁目5番6号

【グループホーム（認知症対応型共同生活介護）】

事業所名	住所
そんぽの家GH宝塚山本	山本丸橋1丁目16番3号
グループホームアンジェリカ	月見山2丁目2番39号
グループホーム「かわも」	川面3丁目24番9号
グループホームケアホーム宝塚	亀井町10番51号
グループホーム宝塚ちどり	亀井町10番30号
グループホーム中山ちどり	中山桜台1丁目7番1号
グループホームたのしい家中山寺	今里町1番15号
グループホームたのしい家仁川	鹿塩2丁目13番19号
グループホームはる逆瀬川	伊子志3丁目15番52号
グループホームはる仁川	仁川北3丁目7番3号
はーとふるセゾン宝塚	中筋5丁目17番17号
グループホーム宝塚清光苑	仁川団地4番15号
グループホーム宝塚あいわ苑	山本西2丁目6番11号

【介護付き有料老人ホーム等（特定施設入居者生活介護）】

事業所名	住所
ウェル・エイジング・コミュニティ 宝塚エデンの園	ゆずり葉台3丁目1番1号
なごみの家宝塚旭町	旭町2丁目12番21号
くらら仁川	仁川北2丁目9番59号
グランポルト宝塚	川面3丁目23番12号
ケアハウス宝塚	弥生町2番2号
ケアハウス中山ちどり	中山桜台1丁目7番1号
サンシティ宝塚	宝梅2丁目6番26号
トラストガーデン宝塚	花屋敷つつじガ丘4番11号
チャームスイート宝塚売布	売布4丁目1番25号
メディカル・リハビリホームグランダ 宝塚逆瀬川	伊子志2丁目8番2号
プラチナ・シニアホーム宝塚逆瀬川	伊子志1丁目7番37号
結いホーム宝塚	弥生町2番1号
エクセレント花屋敷ガーデンヒルズ	花屋敷荘園4丁目1番6号

4 令和4年度訪問活動実績

(1) 訪問回数 ()内はオンライン訪問回数

種別	事業所数	延訪問回数
特別養護老人ホーム	9	40 (23)
養護老人ホーム	1	4 (4)
老人保健施設	4	11 (7)
認知症高齢者グループホーム	11	40 (9)
特定施設入居者生活介護（介護付有料老人ホーム等）	8	17 (7)
合計	33	112 (50)

(2) 面談件数

介護サービス相談員が面談した件数を月ごとに掲げました。

	利用者	家族	職員	その他	計
令和4年4月	4	0	1	0	5
5月	8	0	8	0	16
6月	9	0	9	0	18
7月	19	0	9	0	28
8月					
9月	0	0	2	0	2
10月	11	1	16	0	28
11月	16	1	20	0	37
12月	7	0	17	0	24
令和5年1月	6	0	12	0	18
2月	13	0	17	0	30
3月	11	0	24	4	39
計	104	2	135	4	245

5 その他の活動

- (1) 介護サービス相談員養成研修（主催：介護サービス相談・地域づくり連絡会）
開催日 令和4年7月12日（火）～15日（金）、9月9日（金）
開催場所 AP大阪茶屋町（対面開催）
参加人数 5名
- (2) 介護サービス相談員現任研修Ⅰ（主催：介護サービス相談・地域づくり連絡会）
開催日 令和4年10月25日（火）～26日（水）
開催場所 AP大阪茶屋町（対面開催）
参加人数 2名
- (3) 介護サービス相談員現任研修Ⅱ（主催：介護サービス相談・地域づくり連絡会）
開催日 令和4年10月27日（木）～28日（金）
開催場所 AP大阪茶屋町（対面開催）
参加人数 1名
- (4) 介護サービス相談員新任研修（主催：宝塚市）
開催日 令和4年4月19日（火）
開催場所 宝塚市役所（対面開催）
参加人数 5名
- (5) 介護サービス相談員スキルアップ研修（主催：宝塚市）
開催日 令和5年2月27日（月）
開催場所 宝塚市立中央公民館 209・210 学習室
講師 社会医療法人慈薫会 介護老人保健施設大阪緑ヶ丘 柴尾 慶次氏
内容 「介護サービス相談員として虐待・不適切なケアを見る目を養う」
参加人数 17名
- (6) 令和4年度介護サービス相談員永年活動表彰（介護サービス相談・地域づくり連絡会）
表彰者 1名（15年表彰）
- (7) 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅での介護サービス相談活動を促進するための研究会（令和4年度老人保健健康増進等事業）
開催日 ①令和4年10月17日（月）※オンライン開催
②令和5年2月17日（金）※オンライン開催
参加人数 2名（相談員代表1名・事務局担当者1名）※研究会委員参加
- (8) 令和4年度介護サービス相談員活動事例報告会シンポジウム
開催日 令和4年12月1日（金）
開催場所 砂防会館 別館1階シェーンバッハ・サボー
内容 『介護サービス相談員派遣等事業の新たなステージに向けて～有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅への派遣をいかに進めるか』
参加人数 1名（事務局担当者1名）※講師参加

6 相談事例

主な介護サービス相談員への相談・苦情とそれに対する介護サービス相談員・介護サービス事業所の対応事例を掲げました。

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、オンライン訪問と直接訪問を併用しながら活動を再開しました。

① 接遇・処遇 利用者への接し方に関すること

相談内容・利用者の声	相談員・事業所の対応
<p>○1年前に入所した。 施設に話せる人がいないので、テレビや、読書で毎日過ごしている。 食事には満足しているが、楽しいことはないとのこと。</p>	<p>○入居者及び家族には年2回満足度調査を実施し、結果を踏まえてスタッフ間で共有し対応している。</p> <p>○コロナ禍で、利用者のストレス軽減の為、音楽療法を取り入れている。</p>
<p>○半年前頃に入所したが、スタッフは親切で居心地は良い。</p>	<p>○職員採用において、能力だけではなく、やさしい性格などを重視して採用するように方針を変えた。</p> <p>そのため、介護現場が未経験のスタッフも積極的に採用し、必要な介護技術は入社してから教えているとのこと。</p>
<p>○同じユニットの皆さん、午睡の時間でフロアに誰もいないので退屈です。</p>	<p>○利用者の多くが食事の時間以外、自室で過ごすことが多い。</p> <p>○毎年恒例の祭りを実施出来ればと思い、その時のコロナ禍に応じて、工夫しながら開催したいと思うとのこと。</p> <p>○介護ロボットの導入。 「こんにちは！」と話しかけると「こんにちは！お元気ですか？」と聞き返してきます。歌も歌うそうです。</p>

相談内容・利用者の声	相談員・事業所の対応
○施設の居心地もよいが、趣味や楽しいことがない。体の調子も良くなったので、家に帰りたいとのこと。	○利用者のストレスはそれぞれの好き嫌いを把握し、対応しているとのこと。 ○職員の「後で散歩に行こう」という誘いかけに喜びの表情でうなずかれていた。

② 食事 食事の献立や味付けやおやつに関する事

相談内容・利用者の声	相談員・事業所の対応
○入所して1年未満になるが、以前は食事を食べられなかったが、施設の食事はどれも美味しくてよく食べられるようになったと嬉しそうに話されていた。	○施設の屋上菜園で栽培・収穫を利用者とともに実施し収穫した食材を食事の一部で提供することで利用者の食が進むことが期待できる。 ○季節に応じた食材や献立づくりに努めている。
○魚が嫌いで、肉が好きとのこと。	○普段から利用者に対して個別に食べたいものを聞き取り、可能な限り反映するようにしている。
○昼食はとてもおいしかった。 こちら（施設）の食事はすべて美味しい。 毎日の献立を考えるのは大変だと思うとのこと。	○施設の管理栄養士が利用者の既往歴や、その日の体調等に合わせて献立を考え、調理している。

相談内容・利用者の声	相談員・事業所の対応
○施設の食事は美味しく、特にカレーと煮物が良い」とのこと。	○利用者とのかかわりの中から、個々の郷土料理や思い出の味を再現し提供している。
○ここ（施設）は住み心地もよく、食事も美味しい。 毎日のおやつも楽しみ。 パンが好きだが、ここの食事ではでない。 とのこと。	○先日、長男夫婦が直接面会に来てくれた。あんパンが好物なので、たくさん買って持って来てくれたそうで、嬉しそうな表情がみられた。 ○普段の食事のほか、たこやきパーティーやパンケーキづくりなどの食事レクリエーションにも力を入れている。 ○家族との面会は、玄関先が多く、一緒に近所を散歩されてることもあるとのこと。 ○面会は事前予約制で、利用者一人につき、家族等3名まで。1回15分で実施。
○食事はとても美味しく、以前は偏食だったが、今はすべて完食しているとのこと。	○食事を美味しく食べてもらうためには、歯と胃腸が大事という意識から、歯科と内科の往診をお願いしている。
○半年前に別の施設から移ってきた。 ここの食事は美味しく、元々魚嫌いだったが、ここ（施設）の食事は魚も完食しているとのこと。	○家族参加の運営懇談会にて利用者本人やその家族から食に関する意見を伺うことでニーズの把握に努めている。
○野菜の調理が上手く、柔らかくて美味しいとのこと。	○普通食やミキサー食などに加え、試行錯誤を経て、今年から実現可能になったスチームコンベクションオーブンの技術を使ったスプーンでつぶせる柔らかさで原型が分かる「柔らか食」を追加。

相談内容・利用者の声	相談員・事業所の対応
○食事は、まあまあ。	<p>○月1回の給食会議にて利用者の残したものを確認し、メニューの見直しを実施。</p> <p>○温冷カートを使用し、できるだけ温かい食べ物に提供している。</p> <p>○職員による検食を委託業者へフィードバックしている。</p> <p>○看取りの方は、食べられないことがあるので、ご家族に好みの物を持参してもらい、匂いを楽しんでもらったり、好きな飲み物で口を湿らせてもらったりしている。</p>

③ コロナ コロナ禍に関すること

相談内容・利用者の声・気づいたことの内容	相談員・事業所の対応
○コロナ禍で他の利用者と一緒に楽しむことがなく、部屋でテレビを見ていることが多いとのこと。	<p>○外部のボランティアの受け入れを中止しているため、レクリエーションは、施設スタッフや、一部の利用者が講師となり、生け花や習字などを実施している。</p> <p>○利用者の生活にハリがないので、踊りとオカリナのボランティアを呼ぶことを検討している。今後、夏祭り等のイベントも検討していくとのこと。</p>

相談内容・利用者の声・気づいたことの内容	相談員・事業所の対応
<p>○ここ（施設）は快適です。 ただ「家族と会えないのが寂しい」</p>	<p>○面会はタブレットで、家族とアドレスを交換しており、写真や動画などを送って様子を伝えている。</p> <p>○タブレット面会や、面会室での対面面会など、利用者家族に応じた面会方法を実施している。</p> <p>○感染拡大防止のため家族と思うように面会が出来ていないので、洗濯物等の受け渡しの際に可能な限り利用者の近況を伝えるようにしている。</p> <p>○感染状況を考慮して面会制限と外出を緩和した。但し、外食と外泊についてはまだ認めていない。</p>
<p>○コロナ禍のため、好きなカラオケができない」とのこと。</p>	<p>○歌のレクリエーションなど感染拡大につながる恐れのあるものは、未だ中止しているが、ヨガやピラティスなどは再開している。</p> <p>○現在もボランティアの受け入れを中止しているため、職員主体で嚙下体操等を実施している。</p>
<p>○妻が併設のデイケアを利用しており、デイケア利用日に面会しているが、制限があるので、少し寂しいとのこと。</p>	<p>○今後の面会方針について、家族会を開催して、意向を確認したいと考えているとのこと。</p>

相談内容・利用者の声・気づいたことの内容	相談員・事業所の対応
	<p>○認知症等で理解が難しい方を除いては、可能な限りマスクを着用してもらい、感染対策に努めている。</p>
<p>○施設ではあまり他の人とは話さないと少し不満気な様子だった。</p>	<p>○ご家族さんや、ボランティアさんと接する時間が減少することにより、表情が乏しくなったり、笑いがなくなったりされないように利用者さんを気遣いながら声かけをしているとのこと。</p> <p>○地域やボランティア等の交流は再開出来ていないが、今後、オンラインを活用して何か出来ないか、検討していくとのこと。</p>
<p>○「施設周辺へ花を見に出た際は嬉しくて走ったら呼び戻された。家と違って何も無い」とのこと。</p>	<p>○外出を一部制限していることもあり、月に数回、近隣のコンビニに訪問販売に来てもらっている。</p> <p>○コロナ禍前は商業施設へのお出かけ介助ボランティアなどとの交流もあったので、今後、再開を検討したい。</p> <p>○コロナ感染者が出たことを家族へ連絡する際、多くの家族より感謝や励ましを頂いたことが励みになった。</p> <p>○令和5年5月に予定されている新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの5類移行に伴い、面会やボランティアの受け入れ等を緩和する方法で調整しているとのこと。</p>

④ 入所・退所 事業所への入所及び退所に関すること

相談内容・利用者の声・気づいたことの内容	相談員・事業所の対応
<p>○市外に住んでいたが、入院を機にそのまま施設へ入所した。</p> <p>娘が近所に住んでいるが、一度も家に帰れず、気持ちの整理がついていない、とのこと。</p>	<p>○入所者の方はコロナ禍で家族との密な交流ができない上、ボランティアの方が来ないことや外出もできないなどがストレスとなっている。</p> <p>○在宅で使用していた湯飲みや茶わん、お箸などを入所時に持参してもらい、在宅に近い状況で生活できるようにしている。</p> <p>○コロナ禍で、面会が出来ない時期に、淋しくならないように家族の写真を送ってもらい部屋に飾るようにしている。</p>
<p>○趣味や楽しいことはない。体の調子も良くなったので、家に帰りたいとのこと。</p>	<p>○コロナ禍で外出が一部制限されているため、気分転換もかねてスタッフ付き添いで近所の美容室へ通っている。</p> <p>○予定されたレクリエーションだけでなく、業務の合間で個別に利用者とミニレクリエーションを実施することでストレス緩和に努めているとのこと。</p>

⑤ 趣味・娯楽 レクリエーションや娯楽に関すること

相談内容・利用者の声・気づいたことの内容	相談員・事業所の対応
○塗り絵が好きで、いつも花の絵を描いている、と嬉しそうに話されていた。	○壁面には書道や絵の展示、他に生け花もあり、5名ほどが参加されているようであった。 ○以前まで近隣保育園との交流が利用者の癒しになっていたが、今は園児の制作した作品を施設内に飾ることで利用者の癒しになればよいと願っているとのこと。
○手が不自由な方で趣味はないが、よく歌を歌っていた。今年の2月に施設入居したが、入居当初は部屋に籠っていたが、最近になり、自発的に部屋から出ることが多くなった。	○ボランティアの受け入れはまだ出来ないが、職員さんがレクリエーションなど工夫して、皆さん楽しんで暮らしておられるように感じた。
○若い時は、ギターが好きでいつも弾いていたとのこと。	○春先には対面での面会再開を検討しているが、具体的なことは未定である。
○毎日、新聞を読むのが日課。	○ボランティアの受け入れはまだ出来ないが、職員さんがレクリエーションなど工夫して、皆さん楽しんで暮らしておられるように感じた。
○施設の居心地もよいが、趣味や楽しいことはない。 家に帰りたいとのこと。	○オンラインの著名な芸能人と利用者が直接交流する機会があり、利用者はとても喜ばれていたとのこと。 ○コロナ禍であっても、利用者が退屈しないように毎日レクリエーションを実施している。 ○商用車タイプの車で利用者と花見をするドライブを計画しているとのこと。

⑥ 設備・環境 事務所の設備や環境に関すること

相談内容・利用者の声・気づいたことの内容	相談員・事業所の対応
○他の利用者との相部屋なので、気を遣っているとのこと。	○多床室は室温感覚の違いやいびきなどの問題があれば、可能な限りで部屋替えを実施している。
○1週間前に入所したばかりだが、個室なので良く眠れている。	
○花がたくさん咲いている、ベランダを通ってリハビリに行くのが楽しみ。	○施設内で過ごしていても季節を感じられるように工夫している。
○コロナ禍で、レクリエーション等が減っているせいか、利用者が作った作品の飾付け等が少なく寂しい感じがした。	<p>○廊下には園芸コーナーのように花や鉢物を並べて、家庭にいる雰囲気になっている。ベランダのプランターには水遣りをしてくれる方もいるとのこと。</p> <p>○施設の玄関内にある個別面会スペースには、正月のおせち料理やレクリエーション中の入居者の写真が沢山掲示されており、面会に来た家族に施設での様子が感じ取れるように工夫されていた。</p> <p>○現在、入所している利用者だけでなく、生前施設に入所していた利用者の家族に対しても故人を偲ぶ式典を行うなど、心遣いを感じた。</p>

⑦ その他

相談内容・利用者の声・気づいたことの内容	相談員・事業所の対応
<p>○子供は3人。 近くに住んでおり、昨日は娘と孫が来てくれて、私はお粥が嫌いなので、パンを持って来てくれたとのこと。</p>	<p>○タブレット面会や面会室での対面面会など、利用者家族に応じた面会方法を実施している。</p> <p>○定期的に家族に持参をお願いしている日用品に関して、今までは施設に直接持参をお願いしていたが、コロナ禍もあってか、最近では家族の中には、Amazon 等の配達先を施設に設定して日用品の受け取りすることもあるとのこと。</p>
<p>○ここ(施設)は女性が多いので、姿勢や身だしなみに気を付けているとのこと。</p>	<p>○家族及びボランティア等は制限しているが、訪問理美容やリハビリは受け入れている状況。</p>
<p>○天気の良い日には、施設敷地内の庭を散歩しているとのこと。</p>	<p>○商用車タイプの車で利用者と花見をするドライブを計画しているとのこと。商用車タイプの車で利用者と花見をするドライブを計画しているとのこと。</p> <p>○外へ出かけたい。外出したい。の思いが伝わってきた。</p>
<p>○施設では洗濯物を畳む手伝いをしているとのこと。</p>	<p>○コロナ禍であっても、利用者が退屈しないように毎日レクリエーションを実施している。</p>
<p>○半年前に転倒して車いす生活となった方。穏やかな方で「こんなに話していいのか」とこちらも気遣う様子も見られた。</p>	<p>○介護サービス相談員訪問時はオンライン面会から衝立越しの直接面会(スクリーン面会)に移行していた。</p>
<p>○面会もボランティアも入れないので刺激がなく認知が進まないか心配。</p>	

訪問活動記録票

施設名							記録者							
訪問日時	①令和		年	月	日()	時	～	時						
	②令和		年	月	日()	時	～	時						
訪問相談員														
訪問方法	直接訪問						オンライン訪問							
面接件数	利用者		家族		職員		その他							
【相談内容・利用者の声・観察・気付いたこと No,】 1.要望 2.不満 3.苦情 4.意見 5.身体拘束・虐待 6.職員態度 7.環境 8.利用者の状況 9.感想 10.その他														
【対応 No,】 ①話を聞き解決 ②後日回答 ③継続観察 ④事業者へ報告 ⑤事業者と協議 ⑥事務局と協議 ⑦他所の参考に														
相談内容・利用者の声											対応			
観察・気付いたこと											対応			
特記事項														

宝塚市介護サービス相談員訪問活動報告書(月)

活動実績

(件数)

	利用者	家族	職員	その他	計
面接件数					
累計件数					

[相談内容・利用者の声]

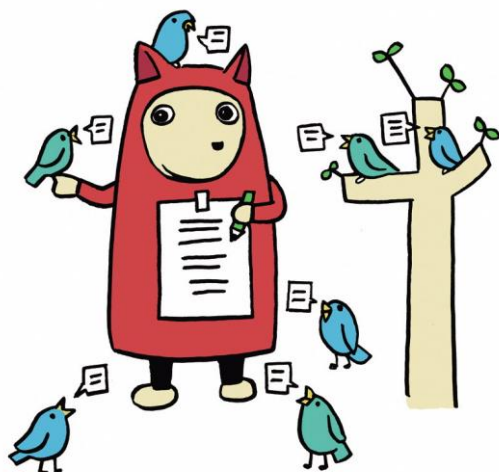
[観察・気付いたこと] 改善面・評価できる点

[観察・気付いたこと]

テーマ ○○○について (聞き取り内容を市事務局で箇条的に掲載しています。)

☆コロナ禍での施設の現状・対応 (聞き取り内容を一部抜粋して掲載しています。市事務局)

[特記事項]



令和4年(2022年)度版

発行 宝塚市 健康福祉部

安心ネットワーク推進室 介護保険課

宝塚市介護サービス相談員事務局

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号

電話 0797(77)2136